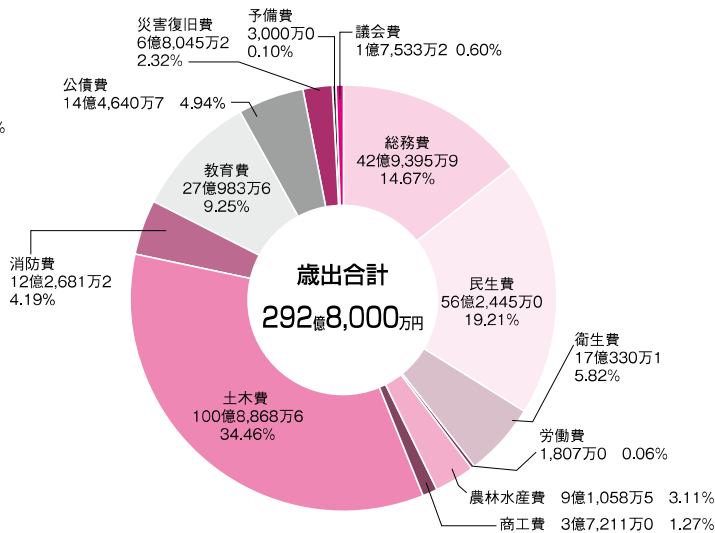
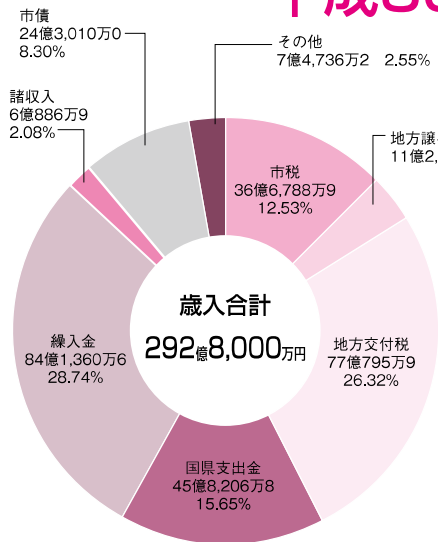


# 平成30年度一般会計収支状況 (単位:千円)



## 3

### 財務委員長報告、採決。(3月1日)

#### 予算審査 財務常任委員長報告 原案可決すべきもの

今回の予算審査は、一般会計ほか国民健康保険、下水道、震災関連事業など7つの特別会計について行いました。予算総額は別掲のとおりですが、慎重審査の結果、20項目の意見・提言を付し原案の通り全て可決となりました。

市当局は、意見・提言について議会の総意であるとともに市民の声であると捉え、今後の行財政運営に当たっていただきたいと思います。



▶ 審査結果を報告する 熱海重徳委員長

財務常任委員長が本会議上で、委員会の審査結果を報告しました。その後、議員全員で当初予算を可決すべきか否かの採決を行いました。議員は同委員長の報告等を参考にしながら当初予算の可否を判断しました。

## 2

### 財務常任委員会、分科会による審査(2月19日～2月27日)

#### 財務常任委員会分科会審査

本年度の予算は、平成30年度の事業について、復興が加速されたことによる予算全体が前年度比約240億の減額となりました。しかし、昨年の市長改選による渥美市政からの初めての予算編成ということもあり、200件余の質疑が出され活発な議論が展開されました。

財務常任委員会では、従来通り「総務」、「民生教育」、「産業建設」の3分科会を設置し、専門的な見地から集中審査を行いました。

財務常任委員会への付託から分科会集中審査、予算事業にかかわる6カ所の現場調査を経て6日間の日程で精力的に審査をし、財務常任委員長が本会議で報告しました。内容の主なもの、住民サービスにかかわること、防災対策事業、定住化事業、財産管理・利活用事業、宮戸地区などの観光事業等、復興後のまちづくりについても市当局への提言を含め議論を展開しました。結果は財務常任委員長報告の通りです。



▲各分科会の審査報告をする、(上から順に)総務分科会正・副委員長、民生教育分科会正・副委員長、産業建設分科会正・副委員長

財務常任委員会は議長を除く議員16名で構成されています。当初予算は規模が大きいので、同委員会を3つのグループ(分科会)に分け、審査をしました。審査終了後、各分科会が報告を行い、委員会として予算を認めるべきか否かの結論を出しました。